

# 平成30年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

## 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	15718 育児支援事業			
基本政策	01 とともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち			
政策	04 健やかな成長を支える子育て環境			
施策	01 子育て支援制度・サービスの充実			
実施形態	全部委託			
事業期間	単年度	平成22年度～		
要求区分	継続	予算区分	政策	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有無	なし			
法令名 条項				
予算科目	01-030201-030100			
部名	23 福祉部	課名	03 こども福祉課	
課長名	岸本 雅彦	T E L	22-3111	内線 223

## 2. 対象・目的・内容

事業概要	小学校6年生までの児童を利用者宅や公的施設等で一時的に世話をするなどの子育て支援サービスを実施する。
事業の対象 (誰・何を)	市内在住の1歳頃から小学校6年生までの子どもを持つ、一時的に育児支援を受けたい保護者
事業の目的 (どういう状態 にするために)	病気や出産等家庭の事情により、一時的に育児ができない保護者に代わり子どもの世話をする。
事業の内容 (どういう内容 を行うのか)	公益社団法人 西脇・多可シルバー人材センターへ時間単位で委託している。保護者の病気や出産、また、学校の行事等で一時的に育児支援を受けたい保護者がシルバー人材センターへ申込みをする。利用料は、平日：1時間400円、土日祝日：1時間500円

## 3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費の内訳						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
平成27年度決算額	207	0	0	0	0	0	0	207
平成28年度決算額	530	0	0	0	0	0	0	530
平成29年度決算額	719	0	0	0	0	0	0	719
平成30年度予算額	785	0	0	0	0	0	0	785

## 4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成29年度のこの事業に 従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成29年度 決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.00	0.05	0.05	119	719	838
事業費の主な用途		委託料			

# 平成30年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

## 5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名	登録児童数				単 位	人
	説 明 や 数 式	利用登録児童者数					
	年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	目 標 値		65	75	75		
	実 績 値	55	67				
	経 費 ( 千 円 )	608	703				
単 位 当 た り の コ ス ト	11.05	10.49					
活動 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経 費 ( 千 円 )						
単 位 当 た り の コ ス ト							
成 果 指 標 ①	指 標 名	利用件数				単 位	件
	説 明 や 数 式	事業利用件数					
	年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	目 標 値		150	250	250		
	実 績 値	130	193				
	経 費 ( 千 円 )	608	703				
単 位 当 た り の コ ス ト	4.68	3.64					
成 果 指 標 ②	指 標 名	利用時間				単 位	時間
	説 明 や 数 式	延べ利用時間					
	年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	目 標 値		500	500	500		
	実 績 値	452	458				
	経 費 ( 千 円 )	608	703				
単 位 当 た り の コ ス ト	1.35	1.53					
実 績 ・ 成 果 等 の 説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録人数は、毎年徐々に増加しているが、年間の利用実人数は10人程度である。</li> <li>・利用時間は年度によってばらつきがあるが、28、29年度は長期に渡り継続的に利用された方が2名あり、全体の時間数が増え、委託料の増加につながった。</li> <li>・子育て応援ライフプラン事業における面談時や子育てガイドブック、また毎年6月に実施している児童手当の現況届にチラシを同封し周知している。関係課とも連携し茜が丘複合施設Miraiや乳幼児健診時にも配布している。</li> </ul>						

## 6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	3
	事 業 の 総 合 評 価	継続実施					
説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今の家族形態の多様化（核家族化、ひとり親等）により、本市においても、一時的に子どもの世話ができないなど、子育てに不安を感じる家庭が見受けられる。</li> <li>・このような支援が必要な家庭に対して、本事業を紹介することで、子育てしやすい環境作りを行っている。</li> <li>・本事業は、子育て家庭の負担感を和らげ、虐待予防、少子化対策に繋がる重要な事業である。</li> <li>・委託先（シルバー人材センター）の人員が少ないことが課題である。</li> </ul>						
2 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	3	市民ニーズの把握	3
	事 業 の 総 合 評 価	改善・見直し					
説 明	<p>国のファミリーサポートセンター事業やこども園が実施している一時預かり事業では、保護者宅で子どもの世話をすることが難しいが、本市では、自宅で産後の乳幼児の世話をしたいという最も多いニーズに対応するため、市独自事業として行っていることが評価点である。しかしながら、事業が開始された平成22年度から内容の見直し等が行われておらず、利用料金について適切かどうかの検証が必要である。委託先においても、本事業に対応できる人員が限られており高齢化という問題もあるため、実施方法や継続性についても検討していく必要がある。</p>						